

令和6年度 奥沢小学校グランドデザイン

北海道教育推進計画
後志管内教育推進の重点

小樽市教育推進計画



学校の教育目標：夢を育む奥沢小学校

【目指す子ども像】

深く学び伝え合う子 なかよくやさしい子 たくましくやりぬく子

【付けたい資質・能力】

主体的・協働的に学ぶ力 思いやる力 やり遂げる力

小中一貫教育の目標：自ら学び、よりよく生きる力を持つ児童生徒の育成(15歳の姿をイメージ)

重点目標：みんな笑顔でぽっかぽか 進んで行動 おくさわの子

学校経営の重点

組織の機能化(自走化) 協働的で持続可能な「奥沢スタイル」の確立

- 子どもが主役(主語)の学校づくり、自己存在感、自己有用感、自己肯定感の向上
- 家庭・地域・幼保・中学校と連携する学校づくり
- 教職員の主体的・協働的な学校運営による保護者、地域の信頼に応える学校づくり

「はあとふる」(話を聞く、挨拶をする、友だちと仲よくする、ふるさとを愛する、ルールを守る) 奥沢小学校

目指す学校像

- ◆安全・安心で信頼に応える学校
- ◆危機管理体制の充実
- ◆ICTの利活用を軸とした授業改善
- ◆教育の質の向上、業務の効率化
- ◆小中一貫教育の推進

教育DXの推進

ほめる
認める
価値付ける

目指す教職員像

- ◆教育公務員としての自覚と責任
- ◆ほめる、認める、価値付ける姿勢
- ◆温かな対応と毅然とした指導
- ◆不断の研究と修養、スキル&キャリアアップ
- ◆バトンランナーとしての学級・学年経営

学びづくり

- ①確かな学力の育成
 - ・ICTの活用を軸とした授業改善
 - ・算数科を柱にした校内研修の充実
 - ・基礎基本の定着と学習習慣の確立
- ②特別支援教育の充実
 - ・ユニバーサルデザインによる学びの推進
 - ・個別指導計画・支援計画の活用
 - ・校内組織の活性化・関係機関との連携
- ③国際理解教育の充実
 - ・外国語科での外部講師の活用
- ④理数教育の充実
 - ・個に応じた指導、専科教諭の活用
- ⑤情報教育の充実
 - ・情報モラル・プログラミング教育の推進
- ⑥キャリア教育の充実
 - ・人材活用、キャリアパスポートの有効活用

個別最適な学びと協働的な学びの「一体化」

心づくり

- ①コミュニケーション能力の育成
 - ・意図的・計画的な表現の場づくり
- ②道徳教育の充実
 - ・自分事として考え議論する道徳授業づくり
 - ・情報モラル教室・人権教室等の実施
- ③ふるさと教育の推進
 - ・体験的な学習の重視
 - ・「小樽の歴史」「小樽の自然」等の活用
- ④読書習慣の確立
 - ・朝読書等、読書機会の増加
 - ・図書ボランティア、市立図書館との連携
- ⑤いじめ防止・不登校支援の充実
 - ・いじめ防止キャンペーンの実施
 - ・「ほっと」を活用した児童理解の強化
 - ・児童会の取組(標語・あいさつ運動等)
 - ・SSW、SCとの連携

「はあとふる」な学び・居場所づくり

体づくり

- ①体力・運動能力の向上
 - ・新体力テスト結果の有効活用
 - ・運動量確保を目指した授業改善
 - ・休み時間等の遊びの推奨
- ②食育の推進
 - ・栄養教諭による食育授業
 - ・知産志食の取組の推進
 - ・保護者と連携した食習慣の確立
- ③健康教育の推進
 - ・薬物乱用防止教室等の実施
 - ・アレルギー対応の情報共有
- ④学校安全教育の充実
 - ・感染症対策、熱中症対策の徹底
 - ・防災訓練、防犯教室等の実施
 - ・安心メール等の有効活用
 - ・学校内外危険箇所等の日常的点検

みんなが元気、安心・安全で笑顔あふれる学校



コミュニティ・スクール(学校運営協議会)
～ 保護者・地域住民等によるボランティアの活動 ～

図書ボランティア

安全ボランティア

学習ボランティア

行事ボランティア